

令和元年度 心のバリアフリー交流会 開催

南丹市では、昨年度から文部科学省「心のバリアフリー推進事業」の指定を受け、京都府立丹波支援学校が立地する八木中学校ブロックを推進地域として、これまでから重点的に取り組んできた、全ての幼児、児童生徒が共に学び合い育ち合う共生社会の実現を目指した教育の充実を図っています。

この事業の一環として、12月2日（月）午後1時30分から、南丹市立八木中学校体育館において、「心のバリアフリー交流会」が開催されました。本年度は、手話エンターテイメント発信団oioi（おいおい）の皆様による手話によるパフォーマンスやワークショップが展開されました。講師の明るく元気なパフォーマンスを通して、子ども達だけでなく全ての参加者に聴覚障がいや手話等に対するイメージを変えることができたように思います。

丹波支援学校生徒、八木西・八木東小学校の6年児童、八木中学校1年生徒、丹波支援学校及び南丹市立各小学校関係教職員、京都府南丹教育局、心のバリアフリー推進委員等のほか、手話サークルの皆様に参加いただくなど、地域の方の参加について、昨年度以上の広がりが見られました。



